

# 岡山市のバリアフリー化の方針 (促進する取組内容)

# 岡山市のバリアフリー化の方針(促進する取組内容)

## ■ 鉄道駅 (1 / 2)

<p>通路</p>	<p>主要な動線や設備（トイレ、券売機、精算機、インターホンなど）には、視覚障害者を安全に誘導するための視覚障害者誘導用ブロックを適切に設置する。</p>
<p>上下移動</p>	<p>階段は、滑りにくい床材とし、両側に2段手すりを連続的に設置するとともに、段鼻の色を強調し、段を識別しやすいようにする。</p> <p>エレベーターは、車いすが複数台乗れる十分な広さとし、足下まで見える鏡や浮き彫り表示のボタン、音声案内、緊急時等に情報提供を行う表示装置の設置など、安心して多様な利用者が利用できる構造とする。</p> <p>エスカレーターは、駆動方向がわかるように音声案内を設置する。</p>
<p>ホーム</p>	<p>ホームと車両の隙間や段差は、できる限り小さくする。</p> <p>待合室には、車椅子使用者やベビーカー使用者等の利用に配慮し、室内の動線の妨げにならない位置に優先スペースを設置する。</p>
<p>トイレ</p>	<p>車いす使用者が円滑に利用できるトイレを設置する（十分な広さ、可動式手すり、大型ベッド、開閉しやすい扉、蹴込みが十分な洗面台の設置など）。</p> <p>オストメイト対応設備や乳幼児用設備を設置する（利用状況やニーズに応じ、多機能トイレ及び一般トイレ内の両方またはいずれかに設ける）。</p> <p>和式便房を洋式化する。</p> <p>JIS規格にあわせた形状・配置など、視覚障害者が容易に認識できる位置に洗浄ボタンやペーパー等を配置する。</p>

# 岡山市のバリアフリー化の方針(促進する取組内容)

## ■ 鉄道駅 (2 / 2)

券売機等	<p>車いすでも近づきやすい蹴込みや見やすい(反射しない)タッチパネルや白黒反転機能のあるタッチパネルなど、車いす使用者や弱視者が1人でも利用しやすい券売機等を設置する。</p> <p>券売機には点字表示を設置する。</p>
案内設備・情報のバリアフリー	<p>バリアフリー経路や乗継経路、バリアフリー設備等の情報がわかる案内図や、ピクトグラムなどを活用した大きくわかりやすい表記、多言語表記の案内設備を設置する。</p> <p>駅出入口や改札付近、ホームなどで音声による案内や、モニター等を活用した視覚情報により、遅延情報や緊急時等の情報をタイムリーに伝達できるようにする。</p> <p>可変式情報表示装置は、情報を受け取りやすい位置や高さに留意して設置する。</p> <p>改札口やトイレ、エスカレーター等に音声案内を設置する。また、駅構内やトイレの配置を示す音声付触知案内図を視覚障害者が容易に認識できる位置に設置する。</p> <p>改札周辺やホーム等にインターホンを設置する場合は、モニターを設けるなど聴覚障害者等への適切な対応方法を検討する。</p> <p>筆談用具を設け、わかりやすい位置に耳マークや筆談用具の設置を示す案内を表示する。</p> <p>多言語対応の窓口等を設置する。</p>
人的対応・心のバリアフリー	<p>多様な利用者への適切な対応について職員の教育を実施し、職員による案内やサポート、声かけなどの対応を充実する。</p> <p>駅や車両利用のマナー・ルール(施設利用に制約がある人のエレベーター・多機能トイレの優先やエスカレーターの2列での利用など)について、利用者への周知・啓発を行う。</p>

# 岡山市のバリアフリー化の方針(促進する取組内容)

## ■ 電停

車両	超低床式路面電車の導入を促進する。
ホーム	転落防止柵を車両乗降口以外の部分に設置する。
	乗降や移動を妨げない位置に上屋やベンチを設置する。
案内設備 ・情報の バリアフリー	乗降位置等について、ピクトグラムなどを活用した大きくわかりやすい案内表示や点字表示を設置する。
	案内板や可変式情報表示装置は、情報を受け取りやすい位置や高さに留意して設置する。
	音声による案内や、モニター等を活用した視覚情報により、遅延情報や緊急時等の情報をタイムリーに伝達できるようにする。
	多言語表記の案内設備を設置する。
人的対応・ 心の バリアフリー	多様な利用者への適切な対応について職員の教育を実施し、職員による案内やサポート、声かけなどの対応を充実する。

# 岡山市のバリアフリー化の方針(促進する取組内容)

## ■バス

車両	車両のノンステップ化、車いす使用者やベビーカー使用者が利用しやすい広めの乗降口の確保など、バリアフリー化された車両への代替を促進する。
バス乗降場・停留所	バス停留所にベンチや屋根を設置するなど、快適な待合環境の整備を行う。(道路管理者との連携) バス停留所を設置する歩道は、バスが正着(バス停留所に寄せてまっすぐ停車)しやすく、車両との段差が生じない構造に改良するとともに、乗降口の位置がわかるように視覚障害者誘導用ブロックを設置する。(道路管理者との連携)
案内設備・情報のバリアフリー	バス乗降場やバス停留所における案内を充実する(わかりやすい路線図・時刻表、ノンステップバス運行の表示、多言語表記など)。 バス接近表示システムの導入(音声案内・電光表示)を促進する。
人的対応・心のバリアフリー	バス停留所への正着やニーリング(車両を傾けて段差を緩和する)を徹底する。 多様な利用者への適切な対応について職員の教育を実施し、職員による案内やサポートなどの対応を充実する。

## ■タクシー

車両	車いす使用者等も利用できるタクシーの導入を促進する。
人的対応・心のバリアフリー	多様な利用者への適切な対応について職員の教育を実施し、職員による案内やサポートなどの対応を充実する。

# 岡山市のバリアフリー化の方針(促進する取組内容)

## ■ 建築物 (1 / 2)

出入口・敷地内通路(屋外)	道路(屋外通路)と建築物の連続性に配慮し、段差を解消するとともに、歩道(屋外通路)上から出入口、建物内の案内施設まで連続した視覚障害者誘導用ブロックを設置する。(道路管理者等と連携)
	主要な出入口は自動ドアなど通行しやすい扉とし、車いす使用者やベビーカー使用者等に配慮した幅を確保する(80cm以上)。
建物内通路	主要な通路は、十分な幅員を確保し、物や設備などで狭くならないように配慮する(120cm以上)。
	主要な通路は、段差を解消し、車いす使用者でも通りやすいような床材とする。
	視覚障害者や高齢者に配慮した適切な照度を確保する。
上下移動	階段は、滑りにくい床材とし、両側に2段手すりを連続的に設置するとともに、段鼻の色を強調し、段を識別しやすいようにする。
	エレベーターは、車いすが複数台乗れる十分な広さとし、足下まで見える鏡や浮き彫り表示のボタン、音声案内、緊急時等に情報提供を行う表示装置の設置など、安心して多様な利用者が利用できる構造とする。
	エスカレーターは、駆動方向がわかるように音声案内を設置する。
トイレ	車いす使用者が円滑に利用できるトイレを設置する(十分な広さ、可動式手すり、大型ベッド、開閉しやすい扉、蹴込みが十分な洗面台の設置など)。
	オストメイト対応設備や乳幼児用設備を設置する(利用状況やニーズに応じ、多機能トイレ及び一般トイレ内の両方またはいずれかに設ける)。
	和式便房を洋式化する。
	JIS規格にあわせた形状・配置など、視覚障害者が容易に認識できる位置に洗浄ボタンやペーパー等を配置する。

# 岡山市のバリアフリー化の方針(促進する取組内容)

## ■建築物 (2 / 2)

案内設備 ・情報の バリアフリー	施設内の配置図や出入口・非常口、バリアフリー化された経路、施設内のバリアフリー設備等の情報がわかる案内図や、ピクトグラムなどを活用した大きくわかりやすい表記、多言語表記の案内設備を設置する。
	施設出入口やトイレ、エレベーター等に音声案内を設置する。施設出入口の音声案内は、指向性能を持つスピーカーを設置するなど音声がはっきりと聴き取れ、音源の位置が把握できるように配慮する。
	筆談用具を設け、わかりやすい位置に耳マークや筆談用具の設置を示す案内を表示する。
	多言語対応の窓口等を設置する。
駐車場 ・駐輪場	施設の出入口付近に十分な広さの車いす使用者用駐車施設（幅350cm以上）を設置し、案内をわかりやすく表示するとともに、適切な利用を促すように利用者への啓発を行う。
	車いす使用者用駐車施設の周辺は十分な照度を確保する。
その他設備	受付・窓口や記入台は、車いす使用者が利用しやすい構造のものを1つ以上設置する（座位用、膝が入る構造）。
	授乳室やおむつ交換台、ベンチを設置する。
	宿泊施設では、ユニバーサルルームのベッド高さは、マットレス上面で40～45cm程度（車いすの座面の高さ程度）とする。
	緊急時等のお知らせについて、聴覚障害者でもわかるように、音声のみでなくフラッシュなど表示装置を設置する。
人的対応・ 心の バリアフリー	施設出入口から受付・窓口までの経路に視覚障害者誘導用ブロックを設置し、受付・窓口からは職員・従業員等が対応するなど、連続的な誘導に配慮する。
	多様な利用者への適切な対応について職員・従業員等の教育を実施し、職員・従業員等による案内やサポート、声かけなどの対応を充実する。
	施設利用のマナー・ルール（施設利用に制約がある人のエレベーター・多機能トイレの優先やエスカレーターの2列での利用など）について、利用者への周知・啓発を行う。

# 岡山市のバリアフリー化の方針(促進する取組内容)

## ■ 歩道(横断歩道含む)

歩道	歩道の傾きやがたつきを解消し、平坦かつ十分な有効幅員が確保された歩行空間を整備する。
	歩道は滑りにくい舗装材を用いる。また側溝の蓋やマンホールの蓋などは滑りにくい素材に改良する。
	横断歩道接続部の勾配を解消（5%以下(やむを得ない場合は8%以下)）し、車いす使用者が安全に滞留できるスペースを整備する。
	歩車道境界部の段差は、車いす使用者や視覚障害者等に配慮した高さにする（2 cmを標準）。
	歩行者の通行が想定される場所の側溝の蓋（グレーチング）などは、白杖や車いす使用者の移動の障害とならないよう、目の細かいものなどにする。
	電柱や街灯、案内サイン等の付属物が歩行者の通行の妨げとならないように配慮する。
	歩行者等の通行の支障とならない範囲で、日陰の確保やベンチ等の休憩施設の設置に努める。
バス停留所	連続した視覚障害者誘導用ブロックを設置する。視覚障害者誘導用ブロックは、JIS規格に適合したものとし、舗装面との色の差による見やすさに配慮するとともに、経年劣化しにくい方法で設置する。
	バス停留所にベンチや屋根を設置するなど、快適な待合環境の整備を行う。（バス事業者との連携）
案内設備・情報のバリアフリー	バス停留所を設置する歩道は、バスが正着（バス停留所に寄せてまっすぐ停車）しやすく、車両との段差が生じない構造に改良するとともに、乗降口の位置がわかるように視覚障害者誘導用ブロックを設置する。（バス事業者との連携）
	生活関連経路上の主要な箇所（駅周辺、主要交差点、主要な生活関連施設付近の交差点など）に、多様な利用者に配慮した見やすく近づきやすい案内表示の設置に努める。
維持管理	エレベーターやスロープなどの案内は、ピクトグラムなどを活用した大きくわかりやすいものを設置する。
普及・啓発	舗装や視覚障害者誘導用ブロック、案内設備などの適切な維持管理に努める。
	自転車利用者及び歩行者に対して通行ルールやマナーの啓発を推進し、歩行者の安全性を向上させる。（交通管理者と連携）



# 岡山市のバリアフリー化の方針(促進する取組内容)

## ■交通安全施設

信号機等	生活関連経路上の信号機は、音響式や経過時間表示式などのバリアフリー対応型信号機を設置する。
	多様な利用者が安全に横断できるよう、適切な青時間を確保する（歩行者用青信号の延長など）。
	音響式信号機の設置に際しては、指向性能を持つスピーカーを採用するなど音声をはっきりと聴き取れ、音源の位置が把握できるように配慮する。
横断歩道	駅前などの混雑する交差点や複雑な形状の交差点には、歩道の視覚障害者誘導用ブロックと連続したエスコートゾーンを設置する。
普及・啓発	自転車利用者へのルール・マナーの啓発を推進する。（道路管理者と連携）

## ■駐車場

敷地内通路	路上自転車駐車場については、適切な運用により視覚障害者等の安全な通行に配慮する。
駐車施設	出入口付近に十分な広さの車いす使用者用駐車施設（幅350cm以上）を設置する。
	車いす使用者用駐車施設の周辺は十分な照度を確保する。
上下移動	立体駐車場には、障害者等が利用しやすい構造としたエレベーターを設置する（十分な広さ、足下まで見える鏡、浮き彫り表示のボタンなど）。
案内設備	ピクトグラム等を活用した大きくわかりやすい表記、多言語表記の案内設備を設置する。
	駐車場の利用方法をわかりやすく掲示する。
	車いす使用者用駐車施設は、枠内を着色するなどわかりやすく示す。
人的対応・心のバリアフリー	利用者への普及・啓発により、車いす使用者用駐車施設の適切な利用を促す。

# 岡山市のバリアフリー化の方針(促進する取組内容)

## ■ 駅前広場 (1 / 2)

通路等	<p>通路の傾きやがたつきを解消し、平坦かつ十分な有効幅員が確保された歩行空間を整備する。</p> <p>通路は滑りにくい舗装材を用いる。また側溝の蓋やマンホールの蓋などは滑りにくい素材に改良する。</p> <p>横断歩道接続部の勾配を解消（5%以下（やむを得ない場合は8%以下））し、車いす使用者が安全に滞留できるスペースを整備する。</p> <p>歩車道境界部の段差は、車いす使用者や視覚障害者等に配慮した高さにする（2 cmを標準）。</p> <p>歩行者の通行が想定される場所の側溝の蓋（グレーチング）などは、白杖や車いす使用者の移動の障害とならないよう、目の細かいものなどにする。</p> <p>電灯や案内サイン等の付属物が歩行者の通行の妨げとならないように配慮する。</p> <p>歩行者等の通行の支障とならない範囲で、日陰の確保やベンチ等の休憩施設の設置に努める。</p> <p>駅前広場では、駅出入口から各乗降場等への連続した屋根を設置し、わかりやすい位置に現在地や乗り場、行き先のわかる総合案内板等を設置する。</p> <p>主要な動線や設備には、連続した視覚障害者誘導用ブロックを設置する。視覚障害者誘導用ブロックは、JIS規格に適合したものとし、舗装面との色の差による見やすさに配慮するとともに、経年劣化しにくい方法で設置する。</p>
バス乗降場	<p>バス乗降場にベンチや屋根を設置するなど、快適な待合環境の整備を行う。（バス事業者との連携）</p> <p>バス乗降場を設置する歩道は、バスが正着（バス停留所に寄せてまっすぐ停車）しやすく、車両との段差が生じない構造に改良するとともに、乗降口の位置がわかるように視覚障害者誘導用ブロックを設置する。（バス事業者との連携）</p> <p>券売機や精算機は、蹴込や音声案内、点字表示などを設け、車いす使用者や視覚障害者に配慮したものを設置する。</p>
タクシー乗降場	<p>タクシー乗降場を設置する歩道は、車いすでも座席の直近まで接近できるように、歩車道境界の段差を小さくする（2 cmを標準）。</p>
自家用車乗降場	<p>身体障害者用乗降場を設置し、案内をわかりやすく表示するとともに、適切な利用を促すよう利用者への啓発を行う。</p>

# 岡山市のバリアフリー化の方針(促進する取組内容)

## ■ 駅前広場 (2 / 2)

上下移動	階段は、滑りにくい床材とし、両側に2段手すりを連続的に設置するとともに、段鼻の色を強調し、段を識別しやすいようにする。
	エレベーターは、車いすが複数台乗れる十分な広さとし、足下まで見える鏡や浮き彫り表示のボタン、音声案内、緊急時等に情報提供を行う表示装置の設置など、安心して多様な利用者が利用できる構造とする。
	エスカレーターは、駆動方向がわかるように音声案内を設置する。
トイレ	車いす使用者が円滑に利用できるトイレを設置する(十分な広さ、可動式手すり、大型ベッド、開閉しやすい扉、蹴り込みが十分な洗面台の設置など)。
	オストメイト対応設備や乳幼児用設備を設置する(利用状況やニーズに応じ、多機能トイレ及び一般トイレ内の両方またはいずれかに設ける)。
	和式便房を洋式化する。 JIS規格にあわせた形状・配置など、視覚障害者が容易に認識できる位置に洗浄ボタンやペーパー等を配置する。
案内設備・情報のバリアフリー	生活関連経路上の主要な箇所、多様な利用者に配慮した見やすく近づきやすい案内表示の設置に努める。
	エレベーターやスロープ、乗降場などの案内は、ピクトグラムなどを活用した大きくわかりやすいものを設置する。
	案内所や待合室では、窓口に耳マークなどを表示し、聴覚障害者に対して筆談可能であることがわかるようにする。 多言語表記の案内設備や多言語対応の窓口等を設置する。
維持管理	舗装や視覚障害者誘導用ブロック、案内設備などの適切な維持管理に努める。
普及・啓発	自転車利用者及び歩行者に対して通行ルールやマナーの啓発を推進し、歩行者の安全性を向上させる。(交通管理者と連携)

# 岡山市のバリアフリー化の方針(促進する取組内容)

## ■ 自由通路・地下通路

通路	<p>主要な通路に視覚障害者誘導用ブロックを設置する。視覚障害者誘導用ブロックは、JIS規格に適合した、舗装面との色の差による見やすさに配慮したものとする。</p>
	<p>主要な通路には手すりを両側に設置する。</p>
	<p>舗装は雨天時でも滑りにくいものとする。</p>
	<p>傾斜路の勾配は1/12以下とし、高さ75cm以内ごとに踊り場を設ける。</p>
上下移動	<p>階段は、滑りにくい床材とし、両側に2段手すりを連続的に設置するとともに、段鼻の色を強調し、段を識別しやすいようにする。</p>
	<p>エレベーターは、車いすが複数台乗れる十分な広さとし、足下まで見える鏡や浮き彫り表示のボタン、音声案内、緊急時等に情報提供を行う表示装置の設置など、安心して多様な利用者が利用できる構造とする。</p>
トイレ	<p>エスカレーターは、駆動方向がわかるように音声案内を設置する。</p>
	<p>車いす使用者が円滑に利用できるトイレを設置する（十分な広さ、可動式手すり、大型ベッド、開閉しやすい扉、蹴込みが十分な洗面台の設置など）。</p>
	<p>オストメイト対応設備や乳幼児用設備を設置する（利用状況やニーズに応じ、多機能トイレ及び一般トイレ内の両方またはいずれかに設ける）。</p>
案内設備・情報のバリアフリー	<p>和式便房を洋式化する。</p>
	<p>JIS規格にあわせた形状・配置など、視覚障害者が容易に認識できる位置に洗浄ボタンやペーパー等を配置する。</p>
案内設備・情報のバリアフリー	<p>ピクトグラム等を活用した大きくわかりやすい表記、多言語表記の案内設備を設置する。</p>
普及・啓発	<p>歩行者等に対して、通行等のマナーの啓発を推進する。</p>